

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームレオナ

(ユニット名)

Aユニット

記入者(管理者)

氏名

管理者 森実恵子

評価完了日

平成 19 年 1 月 31 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月16日

【評価実施概要】

事業所番号	3870800202		
法人名	大西内科医院		
事業所名	グループホームレオナ		
所在地	愛媛県四国中央市金生町下分 1 4 2 3 (電話) 0896-58-9782		
管理者	森実恵子	石川千寿子	
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目 5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月22日	評価確定日	平成19年8月16日

【情報提供票より】 (平成19年5月21日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成13年6月28日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	12 人
職員数	11 人	常勤	10人, 非常勤 1人, 常勤換算 10.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	16,800 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		860 円
(3)利用者の概要 (平成19年5月21日現在)			
利用者人数	12 名	男性 2 名	女性 10 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	5 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 75 歳	最高 96 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所では職員の希望も聞きながら研修の年間計画を立て職員個々のさらなるスキルアップに取り組んでおられる。
 職員は、利用者と一緒に家事をされたり、行事時の衣装や小物を一緒に作っておられる。習字の得意な方にはイベントのプログラム等も書いてもらっている。「ギャラリー城川のかまぼこ板の作品展」に作品を出品される方もおられる。
 利用者の入院時、職員は、何回も病院を訪ね、退院後、事業所でリハビリができるよう関係者と話し合われている。足湯や足のマッサージ等を介護計画に組み込み実践しておられた。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の外部評価を受けた後、共用空間作り・口腔ケアの改善に向けて取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価は、すべての職員で取り組まれ、管理者・運営者が協働しまとめられた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・事業所から外部評価について説明をされている。自治会長から自宅で一人暮らしをされている地域のお年寄りを支える地域の仕組み(救急ボタンの設置)について説明いただいた。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・利用者一人ひとり担当の職員が配置されており、ご家族と密に連絡を取り合っておられる。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・事業所主催の納涼大会・運動会時には、地域のお年寄りや子供達も参加し、パン食い競争や綱引き等、一緒に楽しまれている。散歩中に出会った人とお話されることもあり、事業所にも来ていただけるよう声をかけておられる。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			入所者と話し合い 皆の意見を聞いて理念を作成しました。毎朝の申し送りで互いに確認しています。		
			(外部評価)		
			各ユニットごとに利用者職員で話し合い、ケア面についての理念を作っておられる。		さらに、地域とどのように関わるかということを組み込み、新たに事業所の理念を作ることを検討されていた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			月1回開催している月例会で 理念を共有し 具体的なケアについての意見の統一を図っています。いつも見えるところに掲示し自己確認し共有している。		
			(外部評価)		
			管理者は、日頃から理念に基づいたケアが実践できるよう職員に話されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入り口、広間、事務所のよく見えるところに掲示し明示している。家族の面会時は職員と談話し よく話し合う機会をつくっています。ホーム内での行事やホーム内の新聞を配布し行事ごとにも参加を促しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時 あいさつをしたり話をしたり お花を頂いたり 農作物を分けて頂いたりし 近所付き合いはできていると思う。イベント時は駐車場を近所の方や 近所のスーパーの方に借りたりし日常的なお付き合いがある。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運営推進会議を通して地域につながりを持っている。会議には自治会の方も参加してくれている。地域行事、バザーには進んで参加し 交流している。当事業所で行う 運動会やイベントに地域の方に案内し参加して頂き 交流に努めている。 (外部評価) 事業所主催の納涼大会・運動会時には、地域のお年寄りや子供達も参加し、パン食い競争や綱引き等、一緒に楽しまれている。散歩中に会った人とお話されることもあり、事業所にも来ていただけるよう声をかけておられる。		今後は、地域の井手掃除や草引き・自治会の会合等にも参加していきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 高齢者で悩んでいる人や 相談のあるご家族の方にはいつでも相談にのれる体制にある。いつでも立ち寄りお茶を飲むように 一人暮らしの方には声かけをしている。中学生職場体験や 大学生のボランティア実習受入を楽しく過ごしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 1人1人が自覚し 評価を踏まえて改善に取り組めるように話し合いを機会あることにしている。具体的に話し合うことで具体的に行動におこせるようにしたいと思っている。自己評価を全員で行い サービスの質の向上に努めている。 (外部評価) 自己評価は、すべての職員で取り組まれ、管理者・運営者が協働しまとめられた。前回の外部評価を受けた後、共用空間作り・口腔ケアの改善に向けて取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 色々な立場や地域に詳しい先輩の方々に意見や助言を頂く中で ホームの在り方を違った視点で見れ 自己点検する機会を得ている。取り上げた話し合い内容のその後の経過を報告しあい 意見をもらえるように現在取り組んでいる。		
			(外部評価) 事業所から外部評価について説明をされている。自治会長から自宅で一人暮らしをされている地域のお年寄りを支える地域の仕組み(救急ボタンの設置)について説明いただいた。		事業所から「地域のために協力できることがあれば声をかけてほしい」ということを伝えられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市の連絡協議会に参加し 地域密着型サービスの質の向上を目指す指導を受け 実戦につなげている。市職員の研修場所として事業所を活用してもらい職員と入所者の交流を図っている。(キャラバンメイト研修会)		
			(外部評価) 市のふれあい相談員は、運営推進会議に参加されている。管理者は、市と協働し認知症キャラバンメイトとして活動されており、取り組みの様子は広報にも掲載されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者や職員は 会議で学習し学ぶ機会を得ている。必要と思われるケースが今までなかったので 活用の支援はしていない。機会あるごとに職員への説明は行っているの理解はしていると思う。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 身体拘束について 月会議などで学習する機会を得ている。身体拘束や虐待が起こらないように 互いに話し合いをし 注意を促しあっている。理解はできていると思う。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 口頭で重要事項説明を丁寧に行っています。重度化や看取りについての対応、ケアに関する考え方や取り組みなど十分な説明と話し合いを行っています。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 話し合いの機会を多く持ち 意見や苦情・希望を言いやすい関係をつくるようにしている。職員に言い難い場合は市の相談窓口を案内している。ふれあい相談の訪問があると 入所者と職員間で話し合う機会を得ている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 訪問時に暮らし振りや健康状態を詳しく説明報告している。健康状態が悪い場合は電話連絡を早期にするようにしている。面会時 ホーム内での生活状況を伝える写真やビデオを見せたりしている。		
			(外部評価) ご家族来訪時には、ご本人の暮らしぶりについてお話されている。遠くにお住まいのご家族には、毎月お手紙で暮らしぶりを伝えておられる。利用者一人ひとりのフォトアルバムが居室入り口にかけていた。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見や苦情をいいやすいように 日頃より話し合いの機会を多く持つようにしている。また市 苦情相談窓口を案内している。改善点等あれば ユニット全体で話し合いをしサービス提供に反映させている。		
			(外部評価) 利用者一人ひとり担当の職員が配置されており、ご家族と密に連絡を取り合っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) カンファレンス、懇親会、月例会を設けて 一人一人の意見や提案を聞いている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 柔軟な対応ができるよう 職員間で助け合っている。入所者家族にも協力を得ながら変化に対応している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みの関係が継続できるように離職を最小限に押さえる努力をしているが 女性の場合 家庭の事情もあるので 仕方ない場合もある。離職した後も 訪問にきてもらったり行事に参加してもらったりし 関係を継続し ダメージを防ぐ配慮をしている。		
			(外部評価) 事業所では、新人職員の試用期間を3ヶ月設けておられる。ユニット間での異動はなく、利用者との馴染みの関係を大切にされている。		
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 人材の確保がサービスの質に大きく影響するので人材育成には力を入れている。介護する中で成長していけるように 研修の機会を確保し 自己点検できるようにしている。		
			(外部評価) 事業所では、職員の希望も聞きながら研修の年間計画を立て、職員個々のさらなるスキルアップに取り組んでおられる。又、月例会で研修報告をされ、全職員に内容が周知されている。		今年度、県GH協議会の相互評価に取り組む予定がある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			相互評価に参加し 同業者との交流する機会を得ている。地域でのネットワークが広がるように イベントのある時には訪問し交流をはかっている。他グループホームの見学や事例検討の研修会をとおして意見や経験を取り入れている。		
			(外部評価)		
			県GH協議会主催の東予地区研修会に参加され、他の事業所の職員と一緒に勉強されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			懇親会をし 公私共に よい人間関係が構築できるようにしている。言いたい事がいえる 風通しのよい関係ができるように話し合いの機会を多く持つようになっている。職員の疲労やストレスの要因について気を配っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			定期的に研修に参加し 自己を振り返り 謙虚さを持って取り組めるようにしている。運営者も現場にきて利用者や過ごしたり 個別に職員の業務や悩みを把握している。職員の資格取得に向けた支援を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			個別に悩みや相談を聞き取れる機会を作り 受け止める努力をしている。信頼される関係になれるよう 日々の会話を大切にし 労りをもって接するようにしている。思いに向き合い 求めている事や不安を理解しようと工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用初期には不安や心配も多いので 家族の考えや価値観を受け止めらるるよう話し合いの機会を多くもっている。グループホーム自体を理解してもらえようとしている。ご家族が求めている事を理解し 事業所としてどのように対応ができるか事前に話し合っている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 支援の見極めができ 最適なサービスが提供できるように 連絡と会話をこまめにしている。改善に向けた支援の提案をし信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげるようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 個性や性格を大切にし 雰囲気に徐々に馴染めるように 家族と話しながら工夫している。居室に家庭が再現できるように馴染みの家具を持ち込んだり 花壇をつくったりしている。 (外部評価) 入居前、利用予定者のご自宅や病院等に伺い、ゆっくりとお話をされている。又、入居間もない間は、ご家族に頻繁に来ていただけるよう声をかけ、外泊や電話でお話できるよう支援されている。		現在、認知症共用型デイサービスを市に申請されており、サービスを通して利用者と馴染みの関係を作りやすいような環境の整備をすすめておられた。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 同じ目線で 一緒に笑い一緒に体験し 介護者との垣根がなくなるように努力している。昔の郷土の風習を教えてもらったり 郷土料理や方言、言い伝えを教えるてもらったりしている。入所者は人生の先輩であるという考えを職員が共有している。 (外部評価) 職員は、利用者と一緒に家事をされたり、行事時の衣装や小物を一緒に作っておられる。又、利用者同士「大丈夫よ」と声かけしながら、相手の手をさすってあげたりする様子もうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) イベント、行事、外出には声かけをし参加して頂くように取り組んでいる。入所者、その家族が皆 手を取りあって支えあえる家族の関係が出来るように 顔馴染みの関係ができてつある。気づきの情報共有につとめ家族と同じ思いで支援していることを伝えている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族と本人の家族関係の理解につとめられるように信頼関係をつくる事を第一に大切にしている。よりよい関係が築いていけるように支援し協力している。面会時は本人とご家族の潤滑油になるように心がけている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所後も馴染みの関係が継続できるように 気軽に訪問してもらえるお誘いをしたり イベント案内をしたり 近所へお宅訪問したりしている。一人一人の生活習慣を尊重している。散歩などで馴染みの知人と会い交流できるようにコースも考えている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の潤滑剤に職員がなれるようにし 仲良く支えあえるように支援している。個性を尊重し他者への労りを互いにもてるように支援している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 終了後も 近所付き合い 地域の交流の中で 関係を継続している。終了後も行事の案内をしたり 家族の相談にのったりもしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			一人一人の暮らしや希望が聞けるように 昔の生活や暮らし振りを話題にしたりし 意向の把握に努力している。意思疎通が困難な方には ご家族から情報を得るようにしている。		
			(外部評価)		
			センター方式の様式を採り入れ、ご本人、ご家族の希望や意向の把握に努めておられる。家庭でされていたことは事業所でも継続できるよう支援されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			生活歴や馴染みの暮らしや交友関係など 来訪者の話に参加させて頂いたり 家族との会話に参加したりし経過の把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			健康状態を知った上で 生活リズムを理解し 行動や小さな動作から感じ取り 全体像で把握するように努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ホームでの生活が充実し安心したものとなるように抱える課題を家族と本人参加で話し合いを持ち 意見を出し合ってプランを作成している。		
			(外部評価)		
			骨折入院時、職員は、何回も病院を訪ね、退院後、事業所でリハビリができるよう関係者と話し合われている。足湯や足のマッサージ等を介護計画に組み込み、実践しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			プランの計画期間に応じて見直しをし 急な変化が生じた場合は 見直しを行っています。		
			(外部評価)		
			介護計画は、3ヶ月を目安に見直しされている。ご本人の体力低下時や退院時等には随時見直しされる他、入居直後は、一ヶ月毎に見直しされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			気づきを個別記録に記入し 情報を共有してプランの見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望をできるだけ実現できるように 家族の支援も得ながら 社会参加の機会を作ったりし 柔軟な支援をしている。		
			(外部評価)		
			ご家族が事業所に宿泊することもできる。利用者が入居前に参加されていた地域のサロンに、継続して参加できるよう支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 傾聴ボランティアの方に協力頂き 心の悩み相談や交流をもつ取り組みを始めました。入所者が安心して地域で暮らすことが出来るように消防や民生委員の方と意見交換する機会をもうけています。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて他事業者と話し合い サービスが幅広く充実したものになるように助言して頂いています。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) わからない事は地域包括支援センターに問い合わせるようにしています。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族の望む診療が受けられるように支援しています。かかりつけ医との関係を築きながら 早期発見 早期治療が適切に行われるように支援しています。複数の医療機関と関係を密にしています。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症専門医の受診の必要がある方には 家族の希望のもと受診治療をうけられるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師に相談し 健康管理や医療の支援を受けている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し 入院中も関係が途切れないように見舞い、家族とも情報交換しながら回復状況等 速やかな退院支援に結び付けている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入所時に重度化した場合 終末期のあり方について話し合いしている。その上で 重度化、終末期が近づいた時に再度家族と話し合いを持ち 繰り返し機会をもち かかりつけ医も含めて 全員で方針を共有し確認している。 (外部評価) 利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、入居時や状態変化時、その都度ご家族と話し合いをされている。又、職員の意思も確認し、ご家族の協力を得て看取りができるようにされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) できること できないことシートを利用しプランを作成している。事業所としてどこまでできるかを考え チーム全体全員で支え合い助け合いながら支援に取り組んでいる。本人の気持ちを大切にしながら家族と話し合っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替えする場合 行き先の責任者と申し送りをしっかり行い情報交換することで 認知症への進行とならないように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 言葉かけや対応を丁寧にし 個人を尊重する取り組みをしている。月例会で職員の意識向上を図っている。入所者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。</p> <p>(外部評価) 職員は、ご本人と一緒に洗濯物をタンスにしまうようにされている。又、外部者には利用者の個人情報については話さないように気を付けておられる。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 職員側で決めた事を押し付けることなく複数の選択肢を提案して一人一人の利用者が自分で決める場面を作っている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) どのように暮らしたいか日頃から会話の中で聞き出し計画的に実現につながるように支援している。一人一人のペースや時間の使い方を大切に、その人らしさを尊重するようにしている。柔軟に対応するようにしている。</p> <p>(外部評価) 職員は、日々、利用者個々に事業所でどのような過ごし方をしたいか、声をかけておられる。散歩や買い物等、ご本人の希望に沿って支援されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 希望があれば 望む美容店に行く事もある。外出時はおしゃれを支援し その人らしさを支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の時間が待ち遠しいものとなるように好みや食べたい物を聞いている。食事作りや片付けは 体調や気分により担当が替わったりもするが皆で協力し 出来る事を出来る人にしてもらっている。会話しながら楽しみながら一緒にしている。 (外部評価) 職員は、利用者と一緒に食材の下ごしらえや配膳等をされていた。ご近所やご家族からのいただきものも多く、会話を楽しみながら和やかな食事の様子であった。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 家庭での習慣が続けられるように支援している。近くのスーパーまで好きなお菓子を買いに行ったりしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 気持ちよく排泄し衛生面が保てるように支援している。習慣を把握し無理のない排泄支援をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 曜日を決めて入浴しているが 健康状態や衛生状態により適宜 入浴できるように柔軟に対応している。仲のよい同士と一緒に入浴する時もある。		
			(外部評価) 入浴は、月・金曜日となっているが、夏場のシャワー浴の他、希望により随時入浴できるようになっている。入浴剤、ゆず・みかんの皮等で入浴を楽しまれている。必要であれば一階デイサービスの機械浴も利用することができる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 生活習慣やその時の状況を考えて 状態に合わせて休息できるように支援している。なるべく日中の活動を促し生活リズムを整えるようにしている。寝付けない時は添い寝したり、暖かい飲物を飲みながら談話したりしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 今までの生活歴や楽しみごとを聞き取り 楽しみごとや気晴らしの機会を作り 外出先を工夫したりしている。食事作り、草花、梅干、干し柿など入所者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。		
			(外部評価) ベランダには野菜や花を育てておられ、利用者は、めだかのお世話をされている。習字の得意な方にはイベントのプログラム等も書いてもらっている。「ギャラリー城川のかまぼこ板の作品展」に作品を出品される方もおられる。		管理者や職員は列車に乗る機会を作ったり、利用者一人ひとりの行きたいところへ行くような支援にも取り組んでいきたいと考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買物時 自分で支払いする機会を作り お金の大切さを理解し使う楽しみの支援をしている。自分の財布からお金を出す事で 社会性の維持につなげており 少額を手元にもってもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩を日常生活に取り入れている。天気のよい日、季節を肌で感じてもらうため ドライブ、買物に出かけている。		
			(外部評価)		
			時にはコースを変えながら日常的に散歩をされている。買い物、花見やドライブに出かけられたり、ご本人の希望で映画を観に行かれることもある。また、海水浴や温泉、演劇等も楽しまれている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個別に遠方への外出を望む場合は家族の支援を得ている。外出の機会を作り 季節の花を散策したり 娯楽施設に行ったりしている。実現するための方策を考え検討し支援につなげている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の気持ちを大切にしながら 相手の都合も考えながら電話・手紙の支援をしている。暑中見舞い、年賀を手づくりで作成したりもしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			馴染みの知人が気軽に訪問できるように 普段から近所を散歩の時に声かけしたりし お誘いしている。来て頂いたらのんびりゆっくり時間を過ごせるように場をとりもち支援している。仕事帰りに いつでも立ち寄れるよう配慮している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について 会で話し合いを持ち禁止行為については理解できていると思う。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけずに管理できるように家具の配置を工夫したりし安全面を重視している。職員の見守りの方法を徹底し 一人一人の状態をきめ細かくキャッチすることで自由な暮らしを支援している。 (外部評価) 玄関は日中開放されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は入所者と同じ空間で記録などを行い さりげなく全員の状況を把握するように努めている。夜間は数時間ごとに入所者の様子を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 入所者の状態にてらしながら 嚴重に保管すべきもの保管管理が必要な物 入所者が使う時に注意が必要な物などを分けて管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハット記録を作成し 予測される事態を想定し工夫し事故防止に取り組んでいる。事故が発生した場合は 速やかに報告書を作成し 事故原因と今後の予防対策について検討し 家族への説明と報告を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年に1回 消防本部主催の救命講習会に参加し 救急手当で、蘇生術の研修を受けている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の方にホームの現状を知って頂き 災害時の避難時の協力を得ている。今年 地域の消防訓練にホームも参加し協力体制を強固なものにしたいと計画している。 (外部評価) 運営推進会議で地域の消防団員と話し合いされている。消防署員立会いの下、避難訓練を実施し、アドバイスをいただいている。又、地域の避難場所も確認されている。		運営推進会議時等で、地域の方達に事業所の構造等も見えていただき、いざという時に協力いただけるようお願いしたいと考えておられた。地域の消防団の方より提案があり、今後、地域の消防団と一緒に消防訓練を実施することを予定されていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族と話し合う機会を作り リスクについては話し合いを重ねている。安全性を重視しすぎるあまり自由さが欠ける事のないように取り組んでいる。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 異変時は早期に情報を共有し 必要な場合は専門医受診をすすめている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の識別 効果 用法 用量を把握し 症状の変化時に かかりつけ医に早期に連絡連携している。服薬は都度 本人渡しにしている。副作用については協力医療機関との連携を図れるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 快食 快便 快眠を目指し 気持ちよく排泄できるよう適度な運動、歩行訓練、日光浴を生活に取り組んでいる。飲食物には繊維の多い野菜を取り入れた献立をしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後 口腔内の清潔保持のためウガイを習慣づけている。口腔衛生に努め誤嚥がないように配慮している。寝る前には特に口腔内に異物がないか確認している。寝る時は入れ歯をはずし 消毒液につけて 衛生保持している。口腔ケアの重要性を職員が理解し肺炎予防につなげている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食べる量や栄養バランス、一人一人の好み、水分量を把握し 確保できるように支援している。 (外部評価) 旬の野菜を中心に献立を立てておられる。小さく切ったりミキサー食にもされる等、喉の通りを良くされていた。宅配牛乳やヨーグルトを取っている方もおられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症に対する取り決めは 全ての感染症においては出来ていない。(インフルエンザ・カイセン・ノロウイルス)感染対策委員を決めて感染症が流行する時期には 勉強会を開いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に使う まな板は使用后必ず消毒し衛生面を保持している。新鮮な食材の使用ができるように 整理整頓掃除を徹底している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>周囲に花を植えたり 掲示を工夫したりし 安心して出入りできるようにしている。明るい雰囲気作りをしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有空間でくつろげるように 家具を工夫し 季節の花を生けて 潤いを提供している。ご飯の炊ける匂い、茶碗を洗う音など生活感を得られるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>二階居間の畳は、時々様子により敷いたり上げたりされている。三階ユニットは、車椅子を使用される方も多く、車椅子でも自由に動けるよう置き物を少なくされている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>空間をうまく利用できるように 畳や椅子、机の位置を工夫している。ソファやテーブルを廊下に置き季節の花を生けて居心地のよい空間を作っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室で居心地よく暮らせるように 使い慣れた家具、馴染みの品を持参して頂いている。		
			(外部評価)		
			ご本人の希望により、居室に畳を敷くこともできる。壁紙をご本人の好みのものにリフォームされている居室もあった。居室で趣味の布人形等を作る方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			朝は必ず換気し 気持ちよい一日が始まる工夫をしている。日中も 空気よどみが生じないように 季節や天候を考えながら状況に応じて 換気をしている。外気との温度差がある場合は 入所者の様子を見ながら調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に合わせて浴室での手すり ゴムマット、居室家具の配置を考え 転倒しないように配慮している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			出来る力 能力に応じた取り組みをし 大きい混乱や失敗をしないように工夫している。自信がわく場面も作り 精神的バランスがとれるように支援している。混乱が起こる場合は速やかに補修、工夫をしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダに植物や野菜を植えたりし空間利用を工夫している。西と北のベランダの植物の水遣りの担当を決め 朝晩に実行してもらっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の関わりの中で 意思疎通が困難な方には 家族から情報を得る支援をしている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	全員あつまれる畳の空間を作り 工夫している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買物や散歩 一人一人の状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出時には いきいきとした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入所者の思い通りにはいかない時もあるが まず入所者の意見を聞き入れ、安全面を配慮しながら支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	早期発見、早期治療が適切に行われるように支援している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の希望をできるだけ実現できるように家族の支援も得ながら 社会参加の機会を作ったり 柔軟な支援をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に話合う機会を作っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	入所者の方が地域の方が多く 昔馴染みの人たちが訪ねてこられる。一緒にお茶を飲むこともある。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	判 断 し た 具 体 的 根 拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 ② ② ② ② 評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	色々な立場や地域に詳しい先輩の方々に 意見や助言を頂く 周辺情報や支援に関す る情報交換の協力体制を築いている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	働いていると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	満足していると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	満足していると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

家族や馴染みの昔の友人がいつでも気軽に訪問できるよう 散歩中に声かけしています。天気の良い日は 皆でお弁当を作り出かけ 季節の草花を見たり
 夏は海水浴に行ったり 貝ひろいをしたりしています。夏は納涼大会、冬は忘年会と本格的な衣装を全員で作り 入所者も参加して芝居をして楽しんでは
 います。